

教科	家庭	科目名	家庭基礎		
学年	1 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来				
	【副教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来 学習ノート				

○学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。

また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

基礎的な知識や技術を習得し、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度を身につける。

○評 価

授業への姿勢（発表、服装、意欲関心、実習への臨み方、協力、ノートや作品提出・内容等）
成果物の完成度（被服実習および調理実習）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章 これからの人生について考えてみよう 第 2 章 自分らしい生き方と家族 第 3 章 子どもとかかわる 第 7 章 衣生活をつくる 被服製作実習（布を使った作品）	○人の一生を生涯の発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族家庭と社会との関わりについて理解を深め、現在及び将来の生活のあり方を考えるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家族・家庭のあり方、各自の将来の生活構想などについて課題を見つけ、その解決をめざして、思考を深めます。 ○子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解を深め、子どもの健全な発達と支える親や社会の果たす役割について認識するための知識と子どもと適切に関わることや子どもの健全な発達を支援するために必要な技術を身に付けます。また、子どもの心身の発達や生活と遊び、親の役割と子どもの人間形成などについて現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○被服材料、被服の構成、被服製作、被服整理などについて科学的に理解し、衣生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、衣生活の科学と文化に関心を持ち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。
2	第 4 章 高齢者とかかわる 第 5 章 社会とかかわる 第 6 章 食生活をつくる 調理実習	○高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解を深め、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割について認識するための知識と高齢者と適切に関わることや高齢者の自立を支えるために必要な技術を身に付けます。また、高齢者の生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について思考を深めます。

		○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動できるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○栄養、食品、調理などについて化学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、食生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます
3	第8章 住生活をつくる 第9章 消費行動を考える 第10章 経済的に自立する	○住居の機能、住空間の計画、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、住生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動できるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます

教科	家庭	科目名	家庭基礎		
学年	1 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来				
	【副教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来 学習ノート				

○学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。

また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

基礎的な知識や技術を習得し、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度を身につける。

○評 価

授業への姿勢（発表、服装、意欲関心、実習への臨み方、協力、ノートや作品提出・内容等）
成果物の完成度（被服実習および調理実習）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章 これからの人生について 考えてみよう 第 2 章 自分らしい生き方と家族 第 3 章 子どもとかかわる 第 7 章 衣生活をつくる 被服製作実習（布を使った作品）	○人の一生を生涯の発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族家庭と社会との関わりについて理解を深め、現在及び将来の生活のあり方を考えるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家族・家庭のあり方、各自の将来の生活構想などについて課題を見つけ、その解決をめざして、思考を深めます。 ○子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解を深め、子どもの健全な発達と支える親や社会の果たす役割について認識するための知識と子どもと適切に関わることや子どもの健全な発達を支援するために必要な技術を身に付けます。また、子どもの心身の発達や生活と遊び、親の役割と子どもの人間形成などについて現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○被服材料、被服の構成、被服製作、被服整理などについて科学的に理解し、衣生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、衣生活の科学と文化に関心を持ち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。
2	第 4 章 高齢者とかかわる 第 5 章 社会とかかわる 第 6 章 食生活をつくる 調理実習	○高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解を深め、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割について認識するための知識と高齢者と適切に関わることや高齢者の自立を支えるために必要な技術を身に付けます。また、高齢者の生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について思考を深めます。○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動できるために必要な知

		識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○栄養、食品、調理などについて化学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、食生活の科学と文化に関心を持ち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。
3	第8章 住生活をつくる 第9章 消費行動を考える 第10章 経済的に自立する	○住居の機能、住空間の計画、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、住生活の科学と文化に関心を持ち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動できるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。

教科	家庭	科目名	家庭基礎		
学年	1 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来				
	【副教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来 学習ノート				

○学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。

また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

基礎的な知識や技術を習得し、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度を身につける。

J150

○評 価

授業への姿勢（発表、服装、意欲関心、実習への臨み方、協力、ノートや作品提出・内容等）
成果物の完成度（被服実習および調理実習）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章 これからの人生について考えてみよう 第 2 章 自分らしい生き方と家族 第 3 章 子どもとかかわる 第 7 章 衣生活をつくる 被服製作実習（布を使った作品）	○人の一生を生涯の発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族家庭と社会との関わりについて理解を深め、現在及び将来の生活のあり方を考えるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家族・家庭のあり方、各自の将来の生活構想などについて課題を見つけ、その解決をめざして、思考を深めます。 ○子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解を深め、子どもの健全な発達と支える親や社会の果たす役割について認識するための知識と子どもと適切に関わることや子どもの健全な発達を支援するために必要な技術を身に付けます。また、子どもの心身の発達や生活と遊び、親の役割と子どもの人間形成などについて現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○被服材料、被服の構成、被服製作、被服整理などについて科学的に理解し、衣生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、衣生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○被服製作実習を通して、基本的な技術を身に付けます
2	第 4 章 高齢者とかかわる 第 5 章 社会とかかわる 第 6 章 食生活をつくる 調理実習	○高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解を深め、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割について認識するための知識と高齢者と適切に関わることや高齢者の自立を支えるために必要な技術を身に付けます。また、高齢者の生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について思考を深めます。

		○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動できるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○栄養、食品、調理などについて化学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、食生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○調理実習を通して、基本的な技術を身に付けます。
3	第8章 住生活をつくる 第9章 消費行動を考える 第10章 経済的に自立する	○住居の機能、住空間の計画、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、住生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動できるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。

教科	家庭	科目名	家庭基礎		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来				
	【副教材】 家庭基礎 気づく力 築く未来 学習ノート				

○学習目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。

また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。

基礎的な知識や技術を習得し、男女が協力し自分から進んで生活を創造する態度を身につける。

J150

○評 価

授業への姿勢（発表、服装、意欲関心、実習への臨み方、協力、ノートや作品提出・内容等）
成果物の完成度（被服実習および調理実習）

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	第 1 章 これからの人生について考えてみよう 第 2 章 自分らしい生き方と家族 第 3 章 子どもとかわる 第 7 章 衣生活をつくる 被服製作実習（布を使った作品）	○人の一生を生涯の発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族家庭と社会との関わりについて理解を深め、現在及び将来の生活のあり方を考えるために必要な知識や技術を身に付けます。また、家族・家庭のあり方、各自の将来の生活構想などについて課題を見つけ、その解決をめざして、思考を深めます。 ○子どもの発達と保育、子どもの福祉などについて理解を深め、子どもの健全な発達と支える親や社会の果たす役割について認識するための知識と子どもと適切に関わることや子どもの健全な発達を支援するために必要な技術を身に付けます。また、子どもの心身の発達や生活と遊び、親の役割と子どもの人間形成などについて現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解を深め、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割について認識するための知識と高齢者と適切に関わることや高齢者の自立を支えるために必要な技術を身に付けます。また、高齢者の生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について思考を深めます。

2	第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる 第6章 食生活をつくる 調理実習	○高齢者の心身の特徴と生活、高齢者の福祉などについて理解を深め、高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割について認識するための知識と高齢者と適切に関わることや高齢者の自立を支えるために必要な技術を身に付けます。また、高齢者の生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割について思考を深めます。 ○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動するために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○栄養、食品、調理などについて化学的に理解し、食生活を充実向上させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、食生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○調理実習を通して、基本的な技術を身に付けます。
3	第10章衣生活のマネジメント ・被服製作実習 第11章住生活のマネジメント ・平面計画 最終章生活をデザインする	○住居の機能、住空間の計画、住空間の計画、住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活を充実させるために必要な知識や技術を身に付けます。また、住生活の科学と文化に関心をもち、課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。 ○消費行動と意思決定、家庭の経済生活、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境について理解を深め、責任を持って行動するために必要な知識や技術を身に付けます。また、家庭経済と国民経済との関わり、消費生活の課題、資源や環境との関わりについて課題を見つけ、その解決をめざして思考を深めます。